

平成 30 年 8 月 26 日

平成 30 年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎
アルスコンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した平成 29 年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。平成 30 年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1.開催日時

平成 30 年 8 月 22 日（水）

14 : 00～15 : 45

2.場所

アルスコンピュータ専門学校 101 教室

3.学校関係者評価委員

<関連業界関係者>

藤間 憲一 氏（熊谷商工会議所会頭 株式会社オキナヤ代表取締役社長）

野中 仁一 氏（学校法人浅見学園理事長三尻こども園、三尻幼稚園、三尻保育園 園長）

大島 匡 氏（医療法人くぼじまクリニック事務長）

<教育関係者>

中村 克彦 氏（元深谷市教育委員会教育長）

<地域代表>

木村 美知子 氏（木村社会保険労務士事務所所長 特定社会保険労務士）

<保護者代表>

持田 珠恵 氏（在校生保護者）

<卒業生代表>

隅田 和利 氏（第 5 期卒業生）

<事務局(学校側)>

- 山崎 彰 (学校法人郷学舎理事長)
荻野 欣男 (アルスコンピュータ専門学校校長)
新井 公一 (アルスコンピュータ専門学校副校長・企画室長)
正田 淳一 (アルスコンピュータ専門学校教務部部长)
籠原 智恵 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)
長瀬 あゆみ (アルスコンピュータ専門学校教務部副学科長)
木村 幸江 (アルスコンピュータ専門学校総務部課長)

4.学校関係者評価委員会 次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 理事長挨拶
4. 校長挨拶
5. 委員長の選出
6. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
 - ①H29年度自己点検評価結果について
 - ②意見聴取
 - ③その他
7. 閉会

5.学校関係者委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

重点目標①②について

- 今後外国人労働者も増加する中で、留学生を対象とした国際 IT ビジネスコースは重要なコースになってくると思う。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

- 社会で求められる力として、『社会の課題をどう発見できるか』『課題にどのように対応するか』『チャレンジ精神』や『チームワーク』を駆使し、自主的・自律的に考え解決できる力も育成していく事が必要だと思う。

基準2. 学校運営

- 特になし

基準3. 教育活動

- 教員の資質向上の為に実施している『教員スキル開発シート』は非常に良い取り組みだったと思った。
- 2月や3月は通常授業が少ないが、どのような事を行っているのか。
→8月や2月、3月は通常の授業週では行えない教育活動を行う期間としている。(インターンシップ、病院実習、施設実習、ボランティア活動、検定対策講座、作品制作等) なお、総授業時間数は専門士の称号を得るために必要な時間数を十分満たしている。

基準4. 学修成果

- 医療機関をマネジメントする上で必要な医療および経営に関する知識を問う、医療経営士という資格がある。学習内容を検討してみてはどうか。
→委員のお話を聞いて、今まで本校に無かった視点での教育だったと思った。本校でも内容を確認していきたい。

基準5. 学生支援

- 社会人の受け入れについてはどのように考えているか。
→『人生100年時代』を見据え、社会人の学び直しは必要となると考えている。本校だけでなく地域の企業も巻き込んだ形での仕組みづくりを目指していきたい。

基準6. 教育環境

- 昨年度課題となっていた学内のインターネット回線のスピードアップにもしっかりと対応いただいております。
- 近年、小中学校等でもタブレットを活用したり、アクティブラーニング形式での学習方法が始まっている。貴校でも何か取り組みを行っているか。
→数年前より学内で研究チームを立ち上げ、ICT等を活用したアクティブラーニングでの授業方法を研究している。その中で有効と思われる手法については教務部の中でも共有され各コースの中でも実施されるようになってきている。

基準7. 学生募集と受入れ

- 今後、熊谷市では2047年に小中学生が半減するといわれており、公共施設のアセットマネジメントなども議論されている。人口減少に対しては『戦略』が重要である。

基準8. 財務

- 特になし

基準9. 法令等の遵守

- 自己点検評価委員の選任はどのように行われているのか。
→本校の自己点検評価委員は本校規程に基づき、校長から委員長が任命され、各部署から選出された者で委員構成される。委員は自己点検評価チェック項目に沿って一つずつ評価を行い、その後委員全員で評価結果の確認を行っている。最終的には委員会の総意として自己点検評価報告書を作成している。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

- 特になし

<総括>

委員の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、高等教育機関として、また地域に根差した専門学校として使命感をもって学生の育成にあたらなければならないという事を改めて感じた。こうした期待に応えられる学校運営を今後も目指していきたい。

以上